

事業所番号	3	9	9	0	1	0	0	5	6	6	事業所名	グループホームいこいの森	自己評価実施日	令和6年6月27日	外部評価実施日	令和6年7月24日
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	--------------	---------	-----------	---------	-----------

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述(評価の根拠)	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(評価の根拠、今後の取組等)
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で理念の実践に取り組んでいる。月一回のスタッフ会において理念を確認し共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナはほぼ終息したとはいえ陽性者が散見され、面会制限も一部行っている。まだ十分な交流機会は持っていない。	コロナ禍で出来ていなかった敬老会での保育園との交流なども復活させたい。世間における認知症への誤った見方を変えてもらう良い機会なので、外部交流はぜひ復活をお願いしたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故報告や防災対策の取り組み等を適時報告し意見を拝聴、施策に反映するよう努めており、概ねできている。	(定例の事故報告の際に包括支援センター様からヒヤリハット報告に関しては貴重なご意見を頂戴済み)		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には旭街地域包括支援センターの職員様をお招きしている。複数人で参加いただくことも多く多様な意見をいただけており、大変参考になっている。	事業所としては貴重な意見拝聴の場であると認識しており、引き続き関係強化に努めていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束をしないケアを全事業所にて実践している。事業所内で年2回研修を開催し常に意識づけを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法定以上の頻度で委員会を開催していることや、やむを得ず実施した場合も報告を受けており、事業所として正しく取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と同じくケアの質向上の大変重要な部分であり、年2回研修を開催し、虐待の防止、不適切なケアの防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同上
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前成年後見制度を利用していた入居者がいらっしたので、制度に関する理解はある。必要があれば活用のための支援を行う。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新規契約時には契約書と重要事項説明書を読み合わせし、面前にて同意をいただいている。今次の改定も改定のお知らせを郵送し、全員から同意書をいただいている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	玄関前に意見箱を設置し意見要望を言いやすい環境を用意している。外部者へ表せる機会は設けていないが、HPでの公開を検討してみる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見箱はあまり認識していなかったが管理者との意思疎通ができているので家族としては大変安心している。ほぼ問題なく出来ていると思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所における月1回のスタッフ会には、代表者も時間の都合が合えば出席するようにしている。様々な意見を拝聴し適切に改善に向けた対応を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事評価を年に2回行い、職員個々の仕事ぶりや力量を測り、適切に給与に反映させている。処遇改善加算は最上位区分を取得し、また県の認証の取得も検討しており、働きがい向上に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	適正に人事評価を行っていると聞いており、加算の最上位取得も含め良い環境づくりに努めている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍では外部研修を十分に受講することができなかったが、今後は積極的に受講を推奨する。今年度中に研修体系を再整備しより計画的に研修を受けられる体制を敷く。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所として取り組まなければならないことが増え、研修制度は現在再構築中と聞いている。ぜひ良いものにしていただきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昨年代表者が交代したためネットワークは一新された。これまで付き合いのなかった同業者との意見交換や、徳島本部からの情報提供により、新たな視点でサービスの質向上につながるものと考えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員と入居者は、同じ空間、同じ時間を一緒に過ごす仲間として信頼関係ができている。人生の先輩として学ぶことが沢山あり、尊敬といたわりの気持ちを持ち、お互いに支え合う関係性ができている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	長期にわたるコロナ禍での外出自粛と面会制限の影響で、左記の関係継続支援は十分できているとは言い難い面がある。今後事業所において適切に支援を行っていきたい。	感染対策に十分に注意しつつ進めていく。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアにおいてゆっくり話を聞き、個々の思いや意向を受け止め把握している。困難なケースでは日々の様子や表情から察し、家族からの情報も付加し本人本位の支援をしている。職員間での情報共有も適切に行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族からは、日々の関わりの中で思いや意見を聴いている。また、LIFEによるADLや認知症状の把握により課題を抽出し、WEBで厚労省に報告。フィードバックされたデータを介護計画に活用している。	介護計画は半年に一度更新しており、適切にフィードバックしている。またLIFEが8月から新システムに移行するが、移行準備は完了している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切に行えている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づき等をPCに保存している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに活用している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録は手書き中心であるが日々の申し送りやスタッフ会での情報共有はきちんと行えている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物を中心に個々のニーズを満たすよう努めている。また希望により医療系デイサービスに通われる方もおり、個々のニーズには積極的に応じている。	利用者が希望すれば外部サービスを利用することもできる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年明け以降、外出による花見や季節行事を積極的に行うよう努めてはいるが、地域活動や行事への参加は十分とは言えない。	コロナが5類に移行したとはいえまだ十分ではない。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にかかりつけ医の希望をヒアリングし、希望に沿った対応をしている。受診時は職員が家族とともに同行し、ホームでの様子を伝え適切な医療につながるよう努めている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は1カ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとは言い難いが、介護保険制度の枠組みで健全な事業運営を考えるとやむを得ない。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院の相談員から回復状況を聞き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他の事業所と比較して入居者の入れ替わりが少ないと思われるのは、事業所と医療機関の意思疎通がうまく機能していることも一因であると思われる。協力医療機関からは退院後の支援もあるようなので、ほぼ問題なくできていると考えられる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針により家族および職員全員に周知している。指針はHPでも閲覧可能である。本人と家族の意向をもとに、病院や訪問看護から支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	次の施設探しは家族に丸投げの事業所もある。その点、当事業所ではそうした施設探しも家族と一緒にっており、利用者本位の支援体制ができていると考えられる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。事務所にAEDを設置し、利用方法についてもレクチャーを受けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災は、消防署の指導を受け避難・消火・通報の一連の訓練を年2回行っている。耐震構造の建物であり地震、水害時は被害にもよるが、外への避難は行わず建物内避難としている。今年度よりBCP訓練も定期的に行う予定。	ハザードマップでは当地は河川氾濫による水害想定が約50cmとなっているが全体的にリスクは低い。外部に避難するより当施設にとどまるのがベターと考えている。建物は新耐震基準に適合。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ハザードマップを適切に理解し対応策が考えられている。BCPの研修と訓練が今年度より義務付けられており、災害時への備えは引き続き適切にお願いしたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人を傷つけない声かけの仕方や、人格を尊重した接遇で対応している。丁寧な言葉を使うよう日頃から指導し、実践もできている。穏やかな暮らしができるよう工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会に訪問した際に異変や不穏な印象を受けたことはなく、しっかりした対応ができていると感じる。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・飲み物・入浴・外出等、日常生活の中で本人が決定できるよう支援している。想いや希望を伝えやすい雰囲気づくりにも配慮している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一週間のメニューはあるが、本人希望による変更にも対応している。食材の買い物と一緒に行き、食事作りや食器洗いなども手伝ってもらっている。職員も同じテーブルで会話を挟みながら一緒に食事をする。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人がいつもこの食事は美味しいと喜んで話をしてくれる。今後も同様の水準を維持して欲しい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養 1,500 kcal、水分 1,300 mlを確保するよう栄養バランスを考えた食事作りをしている。個々の状態を把握し、体調・状態に合わせた工夫も行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの必要性を認識しており、毎食後、個々の状態に合わせたケアを行っている。歯科受診、口腔内チェック、夜間ポリデント使用等、清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを拒否する人がいないということは、職員が丁寧に正しく教え実践できている証であると考えられる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々の排泄状態を職員全員が把握しており、トイレ排泄ができるよう支援している。自尊心に配慮した声かけ誘導、パッド交換、下着回収を行っている。一日でも長く自立した排泄が保てるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	布パンツの方を入居後リハパンツに切り替えはせず、できるだけ布パンツのままの使用を心掛けている。利用者に対して適切な排泄ケアができていると考えられる。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿った入浴ができるよう努めている。拒否時は、タイミングを計り、馴染みの職員が対応することになっている。夜間入浴は行っていないが、午後ゆったりと時間をかけ浴槽に浸かり本人のペースで入浴を楽しんでもらっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やし、生活リズムを整え夜間の安眠確保ができるよう支援している。日中はその日の個々の状態			

				に合わせ休息を取っていただいている。夜間不眠の方は専門医を紹介し受診するようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の介護記録ファイルに投薬説明書を入れており、目的や副作用の確認をしている。新しい処方があれば情報ノートに記載し全職員で共有している。また、全職員が症状変化の確認をしている。服薬時は複数職員で名前と日付を確認している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	誤薬は重大な事故につながる危険性が大きい。当施設では全職員が正しい知識を持てるよう交代で服薬を担当している。ただ、担当する期間が1年というのは少し長い印象もあるので、そのあたりはなお検討をしてみてもよいのではと思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の得意分野を把握。全職員が常に感謝の言葉をかけている。誕生日会や季節行事などの際は豪華なご馳走で楽しんでいただき、気分転換となるよう支援している。	季節のイベントや誕生日会を少しでも楽しんでいただくべく企画を立てている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年明け以降、外出による花見や季節行事を積極的に行うように努めている。	世間的にはコロナは収束したとはいえ人々の受け取り方はまちまちで、「地域の人々と協力しながら」の部分にはまだ課題が残る。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、外出の際などに一人ひとりの希望や力に応じて支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	不定期ではあるが、家族に送るお便りの中に、本人の書いた絵や手紙、写真などを同封するようにしている。本人の希望を聞き、電話や手紙を送る機会を増やすよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファと一体化しており、食事作りの音や匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブルに活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員同士の私語		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	明るく開放感のあるつくりになっており、利用者も気持ちよく過ごすことができているものと思う。

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		は慎み不快感を与えないよう気を付けている。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った暮らしができるよう、職員全員で支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーや家族、その他関係者から得た情報をもとにケアプラン作成している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握、情報を申し送りし、職員間で情報共有を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の健康管理は適切にできている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、一人ひとりのペースを大切に、本人の意向に沿った生活ができるよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、本人が大切にしている物や日常的に使用していた物などを持ってきてもらうよう伝えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居説明時に管理者から説明を受けた。この心配りはうれしい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩をしたいとの希望があるときは、職員と一緒に近所を散歩するようにしている。催事への参加なども今後は増やしていく。	地域とのつながりの部分で課題が残る。日常を取り戻せるよう職員一同努力していく。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態に応じて、洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加など個々に支援している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と職員の会話だけでなく、入居 者同士の会話を積極的に促してい る。また、得意とする活動を把握して 笑顔で気持ちよく生き生きとした生活 が送れるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者にとって何が大切かを理解し、 各々の性格や個性に合わせた対応をし ている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以前は高齢者施設のイベント に参加するなど交流が行えていた が、コロナ禍以降は十分行えている とは言えない。	地域とのつながりの部分で課題が残る。 日常を取り戻せるよう職員一同努力して いく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH に居ることで、安心安全な生活が 送れている。入居者同士、あるいは 入居者と職員も家族同様の関係が 構築できており、より良い日々を送る ことができている。	日常が完全に戻ったとはまだ言えない が、それをカバーすべく食事のレベル維 持や外出時の家族同行機会なども増や せられるよう努力していく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体を通して適切な施設運営ができて いると感じられる。引き続き利用者と家 族に良いサービスを提供し、地域におけ る存在感を発揮していただければと思 う。